

第2部 男性介護シンポジウム

司会 斎藤真緒（男性介護者と支援者の全国ネットワーク運営委員）

登壇者

1. 井口希代子さん（上伊那医療生活協同組合ヘルパーステーションあおば所長）
2. 井出里美さん（長野県御代田町社会福祉協議会居宅介護支援事業所ケアマネージャー）
3. 戎世伊次さん（広島市安佐南区「4木の会」代表）
4. 堀本平さん（認知症のひとと家族の会熊本県支部「ケアメンのつどい」発起人）

コーディネーター 津止正敏
（男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長）

・開催日程 2015年3月7日
京都タワーホテル

I. ケアメン・コミュニティのマネジメント
—こうすれば生きる！？男性介護者の会や集い—
はじめに—シンポジウムの開催にあたって—

齋藤 真緒（立命館大学准教授）

男性介護研究会シンポジウム「ケアメン・コミュニティのマネジメント—こうすれば生きる！？男性介護者の会や集い」をこれから開催させていただきたいと思います。本日司会を担当させていただきます、立命館大学の齋藤といえます。どうぞよろしく申し上げます。

私たちが男性介護者の集いなどを研究し始めたのは2000年代半ばですけれども、そのときは、私たちが知る限り3団体ぐらいしかなかったのが、現在では100以上に男性介護者の集いが広がってきています。この間、男性介護ネットのほうでも、いろいろな団体の交流会をしてきていますけれども、初動期はいかに男性介護者に集いに来ていただくのか、あるいは定着期は会員さんが定着してくると、逆にマンネリになってきて、どう活性化させていくのかということで、それぞれの集い、会のところでの課題というのが大きく変わってきているのが、最近の動きではないかと思っています。

これまでは、日本の中でやっぱり介護問題といえば女性というイメージが強かった。反転の力というか、だからこそ男性介護者が逆に切実なニーズをもってこういう集いが広がってきているのではないかと考えております。

今日は最初に4人の方からそれぞれの集い、会についてのご報告をいただきます。前半2人の方は女性の方で、支援者のサイドから集いの運営についてご報告をいただきます。後半は、男性介護者のお二人から当事者目線で会や集いの持つ力を報告をしていただくこととなります。それでは、みなさん、よろしく申し上げます。